

事前評価のための論点整理

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期においてに法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
1	・3つの重点医療の提供	○低侵襲治療の推進 ○血管病医療における、重症患者への治療実績(t-PAなど) ○外来化学療法の実績 ○認知症医療の専門性向上、研究部門の知見を生かした診療	○施設認定の取得(ローターブレード、ICD、CRT) ○血管病医療に係る人員体制の整備 ○退院支援のための訪問看護の試行(中期計画にあるが21.22の年度計画では未記載。23年度計画で検討を進めるとしている)	○新施設における重点医療の「センター制」が効果的に機能するように、第2期中期計画策定に向けて、センターが目指す方向性や強みを明らかにし、新施設における病院運営のあり方について十分な検討を行う必要がある。
		記述欄		記述欄
2	・高齢者急性期医療の提供 ・地域連携の推進 ・救急医療の充実	○急性期病院としての重症患者の積極的な受入れ(CCUネットワーク、脳卒中救急搬送体制、救急医療の東京ルールの実績) ○在宅療養へのスムーズな移行に向けた、退院支援、地域の関係機関とのネットワークの強化	○救急患者の受入れ人数が目標を下回っていることに対する取組	○救急患者数の目標については、救急患者数全体の動向などを踏まえて目標設定のあり方を検討すべきである。
		記述欄		記述欄

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期においてに法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・安心かつ信頼のできる質の高い医療の提供 ・患者サービスの一層の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院部門と研究部門の連携による臨床応用に向けた取組(共同研究の推進など) ○クリニカルパスの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○22年度に発生した向精神薬紛失・多剤耐性菌の院内感染の事例など、安全管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療安全の徹底について、プロセスのみでなく、アウトカムを重視した目標設定をする必要がある。 ○医療の質に関する取組については、質の評価指標について検討を進め、第2期中期計画においては、客観的な指標に基づく目標設定することが望ましい。
		記述欄		記述欄
4	<ul style="list-style-type: none"> ・老化メカニズムと制御に関する研究 ・重点医療に関する病院・病態・治療・予防の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○各分野において、臨床応用に向けた研究が進捗している。 ○研究成果を積極的に公表し、国際的にも評価される実績を上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○着実に研究を進め、研究成果を臨床応用につなげていくことを期待する。
		記述欄		記述欄

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期においてに法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
5	・高齢者の健康長寿と福祉に関する研究	○介護予防プログラムが自治体事業で活用されるなど、社会への還元が行われている。 ○虚弱予防の新たなプログラムの開発や、地域社会で安心して生活を送る視点からの様々な研究に着手している。		○研究成果の発信、より一層の社会への還元を期待する。
		記述欄		記述欄
6	・適正な研究評価体制の確立	○22年度から外部評価を実施し、外部からの視点で研究体制のあり方を検討する体制を構築		○外部評価結果を踏まえた研究体制の見直しの結果を、第2期の研究体制の構築に生かすことが必要。
		記述欄		記述欄

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期においてに法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
7	・他団体との連携や普及啓発活動の推進	○受託研究・共同研究の推進 ○新たな広報活動への着手		
		記述欄	記述欄	
8	・高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成	○積極的な採用活動により、看護師については、7対1看護体制を実現 ○専門資格取得の推進による専門性の向上	○汎用性の高い人材育成プログラムの開発に向けた、具体的な取組が必要	○第2期においては、第1期に構築する人材育成プログラムに基づき、センターの運営に求められる人材の育成を推進することを期待する。
		記述欄	記述欄	記述欄

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期において法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・都民ニーズの変化に的確に対応した事業の実施と必要に応じた事業の見直し ・業務実績の積極的な公表 ・個人の能力・業績を反映した人事・給与制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究の外部評価の実施、法人運営協議会の設置などにより、外部の意見・助言を法人運営に反映 ○職員の能力・業績を評価する人事・給与制度の導入 		<ul style="list-style-type: none"> ○第2期の事業運営の体制づくりを行うにあたっては、研究の外部評価結果をはじめとする法人外部からの意見を反映し、都民のニーズの変化に的確に対応する必要がある。
			記述欄	記述欄
10	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・機器等の整備 ・柔軟で軌道的な予算執行 ・経営に関する情報の管理、データ蓄積及び情報共有化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○法人化のメリットを生かした迅速な意思決定、機動的な予算執行 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営情報に関するデータの蓄積、分析については、着手した段階。活用に向けた具体的な検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、法人が目指すべき方向性を明らかにした上で、経営分析の結果を法人運営に効果的に活用していくことが望まれる。
			記述欄	記述欄

事前評価項目	項目別内容	(1)第1期中期計画達成に向けた進捗状況		(2)第2期(平成25年度～)に向けた課題・第2期においてに法人に期待すること
		①達成に向けて順調な事項	②達成に向けて取組を強化すべき事項	
11	・収入の確保、費用の節減 ・財務内容の改善に関する事項	○増収、コスト節減に向けた具体的な取組の効果(外来化学療法 of 拡充による患者増、診療報酬加算の取得、外部資金の獲得、契約方法の見直し、後発医薬品の導入促進によるコスト減など)	○取組に着手した段階のものについては、今後効果の検証を十分に進めた上で、より効率的な方法・体制を選択して行くことが必要。	○第2期中期計画においては、費用(コスト)節減等の取組(プロセス)のみならず、それによりもたらされる効果(アウトカム)を目標としたうえで、事業を進めるべきである。
		記述欄		記述欄
12	・新施設の整備に向けた取組	○新施設の建設に向け、計画どおりに着工		○第2期の中期計画に向けて、センターが目指すべき方向性や強みを明らかにし、新施設における医療・研究の運営内容について、具体的な検討を進めてほしい。
		記述欄		記述欄
全項目に関する全般的な意見(今後取り組むべき内容など)				